



兵庫工業会 NEWS

2025年4月号

発行/公益社団法人 兵庫工業会

No.318



公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮脇 新也

ものづくりの将来

■ 巻頭言 ■

「ものづくり」に似た言葉に「生産」や「製造」があります。

「生産」は有用なものやサービスを作り出すことで、より一般的で広い意味で使われます。「製造」は原料や部材を加工したり組み立てたりして製品を生み出すことで、「生産」に包含される概念です。「工業」とほぼ同義であると言えます。

それでは、「ものづくり」とは「生産」や「製造」とどう違うのでしょうか。「製品を生み出す」という意味では「製造」とイコールになりますが、そこに「作り手の思い」が詰まった行為であることが、「製造」との大きな違いであると考えています。

「作り手の思い」とは、B to Bであれ、B to Cであれ、「その製品を使う人（お客さま）に思いを寄せること」、「そして、より良いものをより良い方法で作れるよう、創意と工夫を重ねること」、「自分の仕事に誇りを持ち、地道な努力を厭わないこと」このような考え方です。場合によっては武道や芸道に見られるような「求道精神」をものづくりに感じることもあります。我が国のものづくり現場では、程度の差こそあれ、ごく普通に見られる考え方ですが、欧米では一部の伝統工芸などを除き、あまり一般的ではありません。

ここからは、ものづくりの将来について少し考えてみたいと思います。いうまでもありませんが、今後、我が国では少子化が急速に進行し、生産年齢人口が大幅に減少していきます。ものづくりの現場では、すでに人材不足が最大の課題に挙げられており、いかに解消を目指すかが、避けて通れない状況です。ものづくりに限らず、外国人労働者に頼らなければ、これからの日本経済は立ちゆかなくなる、という識者の意見もよく聞かれます。

ものづくりに向き合う働き手の絶対数を広げるという活動、すなわち、エンジニアや管理職領域を含めてシニア世代や女性、外国人といった幅広いリソースをもっともっと活用できるよう、企業側で種々の対策を取っていくことは急務です。しかしながら、それらの対策に加えて「少ない人数でも、今以上のものづくりができるようにする」と言う観点が、これからは絶対に必要になります。

そのためにはデジタル技術の活用が不可欠です。生産工程を自動化・ロボット化するだけにとどまらず、「開発」、「設計」、「生産」、「営業」という一連のものづくりのプロセス全体をIoTやAI（人工知能）を使って革新していくような考え方がどうしても必要になってきます。

幸い、これから世の中を支えていくZ世代そしてその次のa世代の人たちは「デジタルネイティブ」と呼ばれ、生まれつきスマートフォンやパソコンといったデジタル機器や高速インターネットが身の回りにある世代です。なおかつ、ものすごい速度で進化するAIと共に暮らす世代でもあります。センサーや画像処理、通信技術の進歩と相まって、IoTを積極的に使う現場は珍しくなくなりました。さらに、足元でのAIのデータ処理能力や学習・推論能力の進化は凄まじく、ものづくり現場でもAIの活用が広がっています。

「2030年までにAIと人間の能力が等価になり、2045年までには人類を超える英知を持つようになる」との予想がありますが、もっと早くにAIが人間に追いつくのではないかと考えたりします。今後、人間とAIは切り離したくても切り離せない関係にますますなっていくことでしょう。

ただ、AI全盛の世の中にあっても、「ものづくりの核心は人間である」という考えは変わらないのではないかと、思います。

なぜなら前述したように、「ものづくり」には「作り手の思い」がなくてはならないからです。時代が変わろうとも、「使う人に思いを寄せ、より良いもの、より価値の高いものを生み出せるよう、創意工夫の努力をコツコツと重ねる」という「人間くささ」は欠かせないのです。そのようなものづくり現場では、AIはあくまでも脇役であって、主役にはなれないでしょう。

もちろん、生まれつき身の回りにあったラジオやテレビは真空管が動かしていた、という「純正アナログ世代」の筆者の意見です。あくまでもご参考程度にとどめて頂ければ幸いです。

ご承知のとおり兵庫工業会の活動スローガンは「変化に挑戦、輝く未来へ」というものです。これからも時代の変化を読み、輝く未来に向かって会員企業の皆さまのお役に立てるよう、いろいろな活動を企画・推進して参ります。引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。

2024年度 第3回理事会 ご報告

2025年3月21日(金)、第3回理事会をホテル日航姫路にて開催いたしました。
以下の議案について審議の結果、満場一致で承認され、2024年度第3回理事会は滞りなく終了しました。

議案

- 第1号議案 2025年度事業計画について
- 第2号議案 2025年度収支予算について
- 第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第4号議案 会員の入会について
- 第5号議案 第66回通常総会について
- その他 2024年度の事業進捗報告ほか

理事会終了後に兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授で、兵庫県立大学人工知能教育研究センター センター長の森本先生に「生成AIで世界が変わる！～企業を取り巻く環境変化の行方～」という演題でご講演いただきました。講演会終了後には、森本先生にもご参加いただき役員交流会を実施いたしました。参加された皆様は活発な交流をされていました。



森本先生ご講演

第66回通常総会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会 第66回通常総会を、以下の要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。詳細は、別途ご案内させていただきます。

☆開催日時 2025年5月30日(金) 15:00～17:00

☆開催場所 神戸ポートピアホテル

神戸市中央区港島中町6-10-1 TEL 078 (302) 1111

通常総会に引き続き、会員交流会を開催予定

I 公益目的事業

1 人材育成事業

兵庫技術研修大学校を核とした各種研修事業、経営者を対象としたセミナーなどを神戸・姫路教室、その他各地域で実施し、人材育成を支援いたします。加えて各種テーマの研究会を立ち上げ、最新・専門情報の共有化を図ります。

- 兵庫技術研修大学校
- 管理監督者研修
- デリバリー研修
- 技能検定実技試験
- 研究会

2 産業振興事業

社会構造が大きく変化していく環境下、ものづくりを中心とした兵庫県下の産業振興を目的として、企業価値向上のための世界共通テーマとなっているSDGsの推進をはじめ、創意工夫者表彰や産業論文コンクール等の表彰事業、理系学生の企業見学や女性活躍促進による人材確保への支援事業などに取り組んで参ります。

- SDGs推進
- ものづくり分野での女性活躍促進
- 職域における創意工夫者表彰
- 随時事業
- 理系学生によるものづくり企業見学
- 産業論文コンクール
- 神戸市産業功労者表彰

3 シン・ものづくり事業

国内外における経済環境の大きな変化、AIをはじめとしたデジタル技術の加速度的な進展、国内の労働環境の劇的な変化予測に伴い、ものづくり企業では様々な変革を求められています。これらに対応すべく、DX推進、ものづくり企業にとってのその時々旬なテーマを取り上げ情報共有・研鑽の場とするテクノフォーラム、海外事案・海外人材獲得について中小企業が対応するためのノウハウ取得を支援する中小企業海外展開支援事業・グローバル人材関連事業など、兵庫県、神戸市、更には近畿経済産業局と連携・協力を得ながら事業を進めて参ります。

- DX推進
- ものづくり産官交流支援
- 海外視察研修
- 行政との意見交換会
- 国内技術見学会
- グローバル人材関連
- テクノフォーラム
- 中小企業海外展開支援

4 広報事業

工業会ニュースの定期発行や企業広告の導入、ホームページやメールマガジンを用いた情報発信により、会員の皆様に役立つ情報を提供すべく、更に内容を充実させると共に工業会活動の一層の見える化を図ります。

- 情報発信事業

5 40周年記念事業（新規）

設立40周年を記念して、記念講演・各種表彰、ものづくり経営者ビジネススクール（仮称）、高校生プレゼンコンテスト、記念誌発行など、工業会活動に対するご協力に対する関係各位への感謝とともに、今後の工業会発展に向けた新たな出発点となる事業を展開します。

- 40周年記念事業

II 収益事業等（会員交流事業）

兵庫県外の企業や経済団体との交流見学会、会員交流懇親会、ゴルフ大会や兵庫県下の各地域で開催する地域交流会、経営力強化のための研究会などを通じ、会員相互の交流促進のための事業を定例的・継続的に実施いたします。

- くすのき会
- 兵庫工業会女性会（win-win）
- しんゆう会
- 会員交流見学会
- 会員交流懇親会（忘年パーティー）
- 「兵庫工業会」ゴルフ大会
- 地域交流会
- ものづくり中小企業経営研究会



2025年度兵庫技術研修大学校 近日開催コースのご案内



5/20(火)
より開講

「手書き」機械製図コース | 姫路教室

5日間コース

【研修時間】 9:30 ~ 16:30

- 製図に関する日本産業規格及び専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得し、製作図、設計図を正しく読み、製図法を理解する。教材を有効活用し、簡単な製図の内容を理解する。

テーマ/科目	開催日
図面の必要性・立体を紙に表すルールを学ぶ/ 第三角法のルールを学ぶ、図面から立体をイメージする（演習問題実施）、補助となる図法を学ぶ、投影法・断面図・その他の図法、図面用紙の構成	5月20日(火)
寸法表示を読み取る/寸法数値の読み方、寸法補助記号・加工穴・座ぐり・深座ぐり（演習問題にて理解度確認）	5月27日(火)
公差を読み取る/数値で表す・普通公差・記号で表す（はめあい）。表面性状を読み取る、表面粗さの記号（機械製図技能検定問題にて理解度確認）	6月3日(火)
機械製図の図示法/ねじ製図、ばね製図、歯車製図、軸受製図を理解する	6月10日(火)
その他の表示/材料記号・溶接記号、他の工業部門製図を理解する（検図テストにて理解度確認）	6月17日(火)

●定員：15名 ●受講料：会員企業 60,500円（税込、テキスト代込み）

神戸
5/9(金)
より開講

機械工学Aコース | 神戸教室/姫路教室

5日間コース

姫路
5/16(金)
より開講

【研修時間】 9:00~17:00

- 機械工学の基本である4力学+材料特性を学び、企業の機械技術者として必要な知識を身につけ、技術の底上げと視野を広げる。

神戸教室

テーマ/科目	開催日
熱工学/様々なエネルギー変換を知り、発電・動力システムの大部分をしめる熱機関について、熱から仕事を取り出す過程を理解し、熱力学の基本法則を理解する	5月9日(金)
機械力学/機械・構造物に発生する振動を解析するための基本的な考え方の理解と初歩的な解析方法の概略の習得、さらに振動の小さい機械を設計するための考え方を理解する	5月14日(木)
流体力学/流体力学の基礎的な原理を理解した上で、これら流体応用機器の設計に必要な基礎知識を習得する	5月22日(木)
材料力学/部材形状や負担形態を単純化して応力と変形量を近似評価する手法を理解し、棒の引張圧縮、曲げ、ねじりにおける応力計算を目標とする	5月28日(木)
機械材料/材料の示す応力-ひずみ関係、代表的な機械材料の特徴及び熱処理などによる材料組織の変化と機械的性質に及ぼす影響の基礎を理解する	6月4日(水)

姫路教室

テーマ/科目	開催日
材料力学/語句の説明、力の釣合方程式・自由体線図、応力とひずみ、安全率、二軸状態における応力とひずみ、モーメントの応力円、曲げモーメント図とせん断力図 他	5月16日(金)
流体力学/流体力学とは、圧力と高さの関係、静水圧、連続式とベルヌーイの式、管路流れ、管路における圧力損失、運動量の法則 他	5月23日(金)
熱力学/熱力学第一法則、理想気体、熱力学第二法則、蒸気、理論サイクル他を例題と演習問題で説明	6月6日(金)
機械力学/力学の復習、力学と機械力学と共通点と相違点、微分方程式の解き方、減衰のない1自由度系の自動振動、減衰のある1自由度系の自動振動 他	6月12日(木)
機械材料/機械材料として用いられている金属材料の化学的性質や物理的性質について理解するとともに、強度や延性などの機械的性質について理解することを目標とする。	6月20日(金)

●定員：各教室20名 ●受講料：会員企業 64,900円（税込、テキスト代込み）

6/6(金)
より開講

技術者リーダー育成コース | 神戸教室

6日間コース

【研修時間】 9:30 ~ 16:30

●管理職になる前に、身に付けておくべきマネジメント手法やノウハウを企業技術者OBから学ぶ

テ ー マ / 科 目	開 催 日
技術者として成長するには / ①午前：講義・技術者としての成長 ②午後：実習・受講者のグループ別討議 (技術者として成長するための課題抽出とその対応討議)	6月6日(金)
課題発見と課題解決法 / ①職場の問題の捉え方について知る②問題の解決についての基本的な進め方を知る③問題解決技法についての知識を吸収する。	7月3日(木)
チームリーダーとして活躍するために / リーダーとして必要な能力要件を学び、信頼される上司となることを目指す ①リーダーとしての役割とあるべき姿②チームワークを考える ③PDCAは仕事の基本④信頼される上司になるには	8月7日(木)
モチベーションを高める / ①「モチベーション」に関する考え方と企業事例 ②自分自身のモチベーションを高める③モチベーションを高めるための要因分析等をベースに、グループディスカッションを通じて実践的に学ぶ。	9月3日(水)
部下育成と技術伝承 / 講義、事例研究、グループ討議を通じて理解し改善策のヒントを得る ①技術とは②固有技術と管理技術③論理的思考が出来る人材育成 ④人材育成の考え方⑤技術伝承の考え方 ⑥人材育成、技術伝承におけるマネジメント⑦技術伝承・人材育成 事例紹介 ⑧ワークショップ	10月3日(金)
マネジメント力を高める / 組織リーダー（候補）としての「マネジメント力発揮方法」を理解し身に付け、必要要件を認識し、改善力向上を図る	11月7日(金)

●定員：20名 ●受講料：会員企業 71,500円 (税込、テキスト代込み)

6/10(火)
より開講

現場改善基礎コース | 神戸教室

6日間コース

【研修時間】 9:30~16:30

●経験豊富な講師陣からの5日間の講義で具体的な事例を学び、最終日に他社の製造現場を見学することで、生産現場に必要な現場改善の基礎を身に付ける。

テ ー マ / 科 目	開 催 日
現場改善のイロハ / 製造現場の改善着手にあたり具体的なアクション全般を体験的に理解する	6月10日(火) 6月18日(水)
目で見る管理で職場を変える / 職場の管理項目を診る見る	6月25日(水)
5Sの実践 / 5Sの徹底で強い職場体質を作る	7月2日(水)
ものづくり部門における品質管理のあり方 / 不良ゼロ生産を目指して	7月9日(水)
実習とグループ討議	7月16日(水)

●定員：30名 ●受講料：会員企業 72,600円 (税込、テキスト代込み)

6/27(金)
より開講

機械工学Bコース | 姫路教室

5日間コース

【研修時間】 9:00~17:00

●機械工学Aコースから更に設計製図・加工方法を学ぶことにより、機械設計技術者として必要な知識を身につけて専門性を深め、レベルアップした技術者を育成する。

テ ー マ / 科 目	開 催 日
機械加工 / 機械加工の歩みと自動化、加工法と工作機械の概論、切削加工・研削加工・塑性加工、精密表面仕上げ加工 他	6月27日(金)
機械設計 / 機械設計の概要、機械の強度と許容応力、機械材料の特性と設計、ねじ・軸・軸受・歯車等要素設計 他	7月4日(金)
機械製図 / 3日間 JISの製図法の基礎を理解（「立体的な構造を紙面に描き記す」技能を学ぶ）し、手描き製図やフリーハンドによる製図の演習により理解を深める	
機械製図 / 製図用具、文字と線、投影図の描き方	7月11日(金)
機械製図 / 図形の表し方（断面図）、寸法記入法	7月18日(金)
機械製図 / 公差・表面形状、ねじ・歯車など機械部品の製図法	7月25日(金)

●定員：20名 ●受講料：会員企業 64,900円 (税込、テキスト代込み)

1. 中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金

- ・中堅・中小企業が、持続的な賃上げを目的として、足元の人手不足に対応した省力化等による労働生産性の抜本的な向上と事業規模の拡大を図るために行う工場等の拠点新設や大規模な設備投資を支援します。
- ・令和5年度の経済対策において創設。1次、2次公募で計194件を採択（採択倍率は約7倍）。
- ・令和6年度補正予算において、新規公募分として、3年・3,000億円の追加予算を計上。

■事業概要

項目	内容
1 予算額	総額3,000億円（令和9年度までの国庫債務負担含む）
2 補助上限額	50億円（補助率1/3以内）
3 補助事業期間	交付決定日から最長で令和9年12月末まで ※予算に余裕がある場合を除き、原則として、各年度の申請額を上回る計画への変更や各年度の経費の前倒しや後倒しは不可。
4 補助対象者	中堅・中小企業（常時使用する従業員数が2,000人以下の会社等）※単体ベース ※一定の要件を満たす場合、中堅・中小企業を中心とした共同申請（コンソーシアム形式：最大10社）も対象。 ※みなし大企業や実施する補助事業の内容が農作物の生産自体に関するものなど1次産業を主たる事業としている場合は補助対象外。
5 補助事業の要件	①投資額10億円以上（専門家経費・外注費を除く補助対象経費分） ②賃上げ要件（補助事業の終了後3年間の対象事業に関わる従業員等1人当たり給与支給総額の年平均上昇率が、全国の過去4年間の最低賃金の年平均上昇率（4.5%）以上） ※持続的な賃上げを実現するため、補助金の申請時に掲げた賃上げ目標を達成できなかった場合、未達成率に応じて補助金の返還を求める（天災など事業者の責めに帰さない理由がある場合を除く。事業者名は公表しない。）。
6 補助対象経費	建物費（拠点新設・増築等）、機械装置費（器具・備品費含む）、ソフトウェア費、外注費、専門家経費

■スケジュール

- 3月10日：3次公募 開始
- 4月28日：3次公募 締切
- 6月上中旬頃：プレゼンテーション審査（申請企業の経営者等が出席）
- 6月下旬頃：採択発表（以降順次、交付決定）

現時点の詳細はこちら→



2. 中小企業成長加速化補助金

・賃上げへの貢献、輸出による外需獲得、域内の仕入による地域経済への波及効果が大きい売上高100億円超を目指す中小企業の大胆な投資を支援します。

■事業概要

項目	内容
1 補助上限	5億円（補助率1/2）
2 事業期間	交付決定日から24か月以内
3 対象者	売上高100億円を目指す中小企業 ※売上高が10億円以上100億円未満
4 要件	①「 <u>売上高100億円宣言</u> 」を行っていること ② 投資額1億円以上 ③ 賃上げなど
5 対象経費	建物費、機械装置費、外注費 等
6 その他	補助事業完了後、完了報告に基づき、事後評価を実施いたします

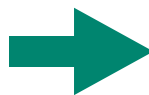
■「100億宣言」について

【企業が宣言に記載する内容】

- ①企業概要
- ②企業理念・経営者の意気込み
-宣言を行う経営者・代表的な社員のコメントを記載。
- ③売上高100億円実現の目標と課題
-100億円を目指していくことを表明。成長へと動機付けや、地域経済に対するコミットメント
- ④売上高100億円に向けた具体的な措置（取組）
-目標達成に向けた課題や戦略などを記載。

【宣言のメリット】

- ✓宣言取得による補助金等の活用
-成長加速化補助金
-経営強化税制の拡充措置 など
- ✓経営者ネットワークへの参加
-宣言を行った成長を目指す経営者が、地域・業種を超えて繋がれるネットワークを構築。
- ✓宣言の公式ロゴマーク活用による自社PR
※商標登録出願中



各社の宣言内容を、ポータル
サイト上で公表。
令和7年5月頃開設予定

※宣言できる企業は、売上高10億円～100億円未満の中小企業です。

■スケジュール

3月に公募要領公表。申請受付開始は5月頃。

現時点の詳細はこちら→



■ひょうご産業SDGs宣言・認証事業の推進

予算額(千円) 28,562

- SDGsオンラインプラットフォーム「Platform Clover」での情報発信、交流・連携
認証企業の取組や動画の発信によるSDGs経営の裾野拡大、県域を超えた企業間の交流・連携の促進によるビジネス機会の拡大等を推進
- 宣言企業向けインセンティブの拡充
宣言企業のインセンティブとして「GX診断補助金」を創設し、カーボンニュートラル実現に向けた第一歩の取組を支援し、認証企業へのステップアップを後押し

担当課：産業労働部地域経済課 経営支援班 078-362-3313

■事業承継の推進

予算額(千円) 107,811

中小企業のノウハウや技術を次世代に受け継ぎ、さらなる地域活性化を図るため、後継者の事業承継時に要する経費を補助し、円滑な事業承継を支援
・建物改修費、広告宣伝費等を補助

担当課：産業労働部地域経済課 経営支援班 078-362-3313

■中小企業融資制度による支援

- 融資枠の確保(融資枠3,600億円)
長引く物価高騰・人手不足・人件費高騰や、倒産件数の高止まりなど不透明な要素があることから、中小企業の資金需要に柔軟に対応するため、令和元年度(コロナ禍前)並の融資枠を確保
- プロパー融資に関する国の新たな保証制度への対応
金融機関による積極的な事業者支援を促すため、国が総合経済対策において発表した「民間金融機関のプロパー融資※を引き出す新たな保証制度」に対応する融資メニューを創設
※信用保証協会による保証がなく、民間金融機関が実施する融資
- 金利の改定
市場金利の上昇を踏まえ、貸出金利を0.25%※引き上げ
※災害対応貸付等一部資金を除く

担当課：産業労働部地域経済課 経営支援班 078-362-3313

■奨学金返済支援制度の推進

予算額(千円) 166,978

兵庫県では中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施しています。

R6年度から制度内容を大幅に拡充し、補助期間を従来の5年から最大17年間に延長することで、若手従業員の経済的負担をさらに軽減するとともに、県内企業の人材確保を後押しします。

なお、本制度の申請において、事務作業の簡略化を図るため、インターネットを活用した申請も可能としておりますので、まずは下記問い合わせ先までご相談ください。

- 補助額：年間返済額の2/3(上限12万円)
- 補助期間：対象者1人につき最大17年間(県で定める認定制度取得内容により異なる)
- 対象企業：県内に本社がある中小企業で、従業員に対し奨学金返済負担軽減制度を設けている。
- 対象従業員：対象企業に勤務する40歳未満の正社員で、日本学生支援機構の奨学金を返済している。



県と企業の負担イメージ

年間返済額18万円		
6万円 (企業の実質負担額)	12万円 (県負担：企業補助6万円+従業員補助6万円)	
最大補助期間	補助総額	認定取得内容
5年	90万円 (うち県60万円)	未取得
10年	180万円 (うち県120万円)	SDGs宣言企業 フレッシュミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス宣言企業 いずれか2つが該当
17年	306万円 (うち県204万円)	SDGs認証企業 ミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス認定企業又は ワーク・ライフ・バランス表彰企業 いずれか2つが該当

各認定制度の取得企業等は
サイト上で公開しています。



奨学金



SDGs



ミモザ



ワーク・ライフ・バランス

申請受付・問い合わせ先：一般財団法人兵庫県雇用開発協会 Tel 078-362-6583

■大学生等のインターンシップ推進

予算額(千円) 39,220

大学低学年時からの県内中小企業・地場産業での各種インターンシップ事業の実施により、大学生等の県内就職・定着とキャリア形成を支援する。

・インターンシッププログラムの作成支援 ・テーマ型インターンシップの実施 ・探求型プレインターンシップの実施等

<テーマ型インターンシップ>

【対象】大学生等

【実施時期】8・9月頃(夏休み期間)

【内容】

- ・座学・就業体験を含む数日～5日程度で実施
- ・地場産業や製造業などテーマごとにコースを設定

<探求型プレインターンシップ>

【対象】主に大学1・2年生

【実施時期】7月～12月頃

【内容】

- 企業が提示する課題に対して、学生がグループで課題解決に取り組む。
- ・企業・業界研究型：1・2か月程度
- ・キャリア形成型：半年程度
- (課題例)若年向けの商品開発、SNS広報など

担当課：産業労働部労政福祉課 雇用就労班 078-362-3357

■理工系人材獲得の推進

予算額(千円) 7,957

県内外の理工系大学及び学生と県内中小製造業とのマッチング機会を創出するため、理工系学生に製造・研究現場や産業見本市等を見学する機会を設けるなど、理工系人材の獲得に向けた支援を展開

【実績】(令和6年12月末時点)

事業名	参加企業	参加者(校・人)
企業との就職情報交換会	15社	12校
職場見学ツアー	3社	18人
企業発見フェア	5社	43人
合同企業交流会(姫路)	10社	104人

担当課：産業労働部労政福祉課 雇用就労班 078-362-3357

■「ひょうご科学塾」の実施

予算額(千円) 3,741

早期アプローチとして、高校進学・文理選択の前に、理系に興味を持つきっかけを作るとともに、地元企業を身近に感じてもらえるよう、小中学生向けに県内大学と中小企業が共同で出前授業を実施

・試行的に兵庫県立大学と地元中小企業で実施し、将来的な拡大をめざす

・面白さを感じてもらえるよう、企業の優れた技術や大学の実験装置を用いた展示・体験

担当課：産業労働部労政福祉課 雇用就労班 078-362-3357

■高校生の県内就職の促進

予算額(千円) 8,543

就職を希望する高校生及び進路指導担当教員向けのセミナー等を実施し、高校生のキャリア形成支援と県内企業への若手人材の就職・定着を推進

①高校生向けキャリア支援セミナー

- ア 専門家による社会人マナー講座
- イ 新規高卒者の採用を検討している地元企業との交流会
- ウ 県の施策、大学生の就活事情などを伝える進学希望者向けセミナー

②進路指導担当教員向けセミナー

- ア 県の施策や就活事情などを伝えるセミナー
- イ 地域の優良企業など会社情報の説明会

担当課：産業労働部労政福祉課 雇用就労班 078-362-3357

■外国人留学生等を対象とした人材確保策の展開

予算額(千円) 28,631

留学後も日本に在留し就業を希望する外国人留学生を対象に、合同企業説明会を開催し県内就職を促進。また、海外現地で学び日本への就職を希望する外国人大学生等を対象としたジョブフェアを開催することにより海外人材を獲得

○留学生向け合同企業説明会 (R6年度実績) 参加企業76社、参加学生：710名

○首都圏開催合同企業説明会における「ひょうごストーリー」

- ・外国人留学生が多く在籍する首都圏開催の合同企業説明会に兵庫県ゾーンを設置

○外国人採用ジョブフェア(ベトナム)

- ・海外現地の学生を対象にしたジョブフェアを開催

担当課：産業労働部国際局国際課 経済交流班 078-362-3328

■外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の運営

予算額(千円) 6,163

外国人留学生の採用を検討する県内企業や留学生等からの相談に対応し、採用から採用後の職場定着までをワンストップで支援する相談窓口を運営

場所：兵庫国際交流会館1階(神戸市中央区脇浜町) 開館日：月・水・金 9:00～16:00

担当課：産業労働部国際局国際課 経済交流班 078-362-3328

1 中小企業投資促進等助成

2025年4月中旬頃 募集予定

技術力・生産性の向上や受注拡大などに向けた積極的な設備投資等を支援します。特に、サプライチェーン強靱化のための海外生産拠点の神戸市内への移転、戦略産業分野（「航空・宇宙」「医療・健康・福祉」「農業・食糧」「環境・エネルギー」）での事業展開に必要な設備投資、及び生産性を向上させるために必要なIoT・AI・ロボットの導入について重点的な助成を行います。また、従前に比べCO2排出量が15%以上削減される設備の場合、一部の助成対象事業について、補助率の上乗せを行います。

併せて、航空宇宙分野など成長分野に参入する上で必要となる国際的な品質管理規格の認証取得や、生産現場へのロボット導入を促進するためのシステムインテグレータによるロボット導入に向けたシミュレーション、ロボット導入に大きな役割を担うシステムインテグレータを育成するための設備取得に係る費用についても助成します。

助成対象事業	①設備投資または新增設				
	海外生産拠点の神戸市内移転	戦略産業分野	IoT・AI・ロボット	女性雇用促進施設、外国人雇用にかかる施設	一般
対象事業費	1,000万円以上	1,000万円以上 ^(※)	100万円以上	50万円以上	1,000万円以上 ^(※)
助成率	通常	1/2以内	1/3以内	1/3以内	10%以内
	CO2排出量15%以上削減	上乗せなし	1/2以内	上乗せなし	15%以内
助成限度額	3,000万円		1,000万円		500万円

助成対象事業	②専門分野における国際的品質マネジメントシステム規格（JISQ9100等）の認証取得	③生産現場へのロボット導入に向けたシミュレーション	④ロボットシステムインテグレータ育成のための設備取得
対象事業費	—	—	—
助成率	1/3以内	1/3以内	1/3以内
助成限度額	100万円	50万円	500万円

※小規模企業者（従業員20名以下）による設備投資等については100万円以上

2 神戸挑戦企業等支援補助

2025年5月中旬頃 募集予定

戦略産業分野（上記1と同じ）での試作開発や新規開発の取組みを支援します。また、大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、社会課題の解決につながる革新的な開発についても支援対象とします。併せて、下記「神戸市が定める特定のテーマとして（▲カーボンニュートラル）をテーマとする研究・開発」については、補助率・補助金額の上乗せを行います。

補助対象枠	単独枠		コンソーシアム枠	
	補助率	金額	補助率	金額
戦略産業分野における試作開発・新規開発	1/2	単年事業：150万円	1/2	単年事業：400万円 2か年事業：600万円
神戸市が定める特定のテーマに関する研究・開発（▲）	※設定がございません		2/3	単年事業：500万円 2か年事業：750万円
産学連携による社会的課題の解決につながる開発	※設定がございません		1/2	単年事業：400万円 2か年事業：600万円

上記の内容は変更される可能性があります。それぞれの公募要領をご確認ください。

問合せ先：神戸市 経済観光局 工業課 TEL (078) 984-0340

神戸市 HP：ものづくり中小企業支援

<https://www.city.kobe.lg.jp/a93457/business/sangyoshinko/shokogyo/venture/monodukuri/index.html>

令和7年度兵庫県科学技術振興助成金

申請受付期間 令和7年7月～9月末日

兵庫県下の研究開発に関する試作試験ならびに新技術の実施化資金を主たる助成対象とする。

助成対象：県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関（大企業、大規模プロジェクトは含まない）

助成対象の要件：● 県下の科学技術の振興に寄与するもの
● 新規な学術または技術であること
● その計画が申請者において実施可能なものであること

助成額：本年度予算額 300万円

助成期間：選考手続きを経て令和8年2月助成金交付後、令和9年3月末日迄
完了報告書提出締切：令和9年3月末日

ホームページ： <https://jiihyogo.jp/foundation.html>（兵庫県発明協会HP内）

問合せ先：公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団 TEL (078) 731-5847

合同委員会

兵庫工業会には、以下に示す4つの委員会があり、それぞれの委員会において各種事業の計画やフォローがなされています。また、それぞれの委員会の委員長には、兵庫工業会の副会長が就くことにより、兵庫工業会の運営情報の共有化を図っております。

- ・人材育成委員会（小谷委員長／副会長）
- ・産業振興委員会（吉井委員長／副会長）
- ・シン・ものづくり委員会（金井委員長／副会長）
- ・会員交流委員会（神門委員長／副会長）



合同委員会の様子

委員会は、議案審議はもとより、審議等を通じて委員同士が知り合える場ともなっています。それを拡大したものが合同委員会であり、年に一度、全ての委員会の委員の皆様にお集まりいただき、議案審議と共に委員会を超えた交流をはかっていただいております。

今年度の合同委員会は、2月26日(水)、有馬温泉 元湯「古泉閣」にて開催され、まず、委員会毎に、「2025年度事業計画」ほかをご審議いただきました。議案審議後は一堂に会して、各委員長より所掌事業の次年度計画の概要を紹介していただき、引き続き「兵庫県産業労働部 令和7年度主要施策」について、兵庫県産業労働部地域産業立地課の松木課長よりご講話いただきました。

その後、懇親会が開かれ、合同委員会開催の主旨でもある委員同士の交流を、一層深めることができました。お忙しい中、ご出席いただきました委員の皆様には、本紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

近畿経済産業局との意見交換会 ご報告

兵庫工業会では、行政施策に産業界の声を反映し、当会事業への積極的な支援・協力をしていただくことを目的に行政との意見交換を定期的実施しており、3月4日(火)に近畿経済産業局（以下、近経局）との意見交換会を開催いたしました。

近経局からは鈴木産業部長はじめ計12名、兵庫工業会からは正副会長はじめ計14名が出席し、2時間を超えての活発な意見交換がなされました。

近経局からは、ものづくり企業にとっての有用な補助金、取引適正化、物流効率化法の改正、経済安全保障の観点からの技術流出対策などについてご説明をいただき、兵庫工業会からは、SDGsやDXへの取組み、価格転嫁、海外エンジニアの採用などについての会員企業からの報告と、人材難の問題に対してどう対応していくかについての関係諸施策の紹介を行いました。

意見交換では、価格転嫁や補助金についての工業会側からの質問以外は、もっぱら人材難に関することが話題となり、行政、工業会ともに関心度の高さ、深刻さが伺えました。

双方にとって貴重な意見交換の機会であり、今後も継続開催していくことを確認して会を締めくくりました。

兵庫工業会 西播磨地域交流会開催

兵庫工業会では、県内ものづくり企業の地域ごとの課題や行政・工業会に対する要望を、兵庫工業会幹部（会長、副会長）が直接訪問し、今後の事業に反映させていくことを目的として「地域交流会」を各地域で開催しています。このたび西播磨地域にて開催いたしました。

(1)開催日 2025年2月4日(火)

(2)開催場所

- ・企業見学：(株) IHI 相生事業所 カーボンソリューションミュージアム
(株) 三井E&S DU
- ・意見交換会・交流会：(株)IHI相生事業所『臨海荘』

(3)参加者

- ・西播磨地域企業 14名
- ・会員交流委員会委員他 15名
- ・兵庫県2名、西播磨県民局3名
- ・兵庫工業会 宮脇会長、神門副会長 他

事務局を含め、計41名の方々にご参加いただきました。

(4)企業見学

■(株)IHI相生事業所 カーボンソリューションミュージアム

カーボンソリューションミュージアム見学では、播磨造船所の歴史から始まり、相生事業所の主力製品のひとつであるボイラについて、展示物、模型、動画等を用いて詳しくご説明いただきました。現在は、脱炭素社会におけるアンモニア、バイオマスを燃料としたボイラの開発、実証に取り組まれているとのことでした。

■(株)三井E&S DU

工場の歴史、船用ディーゼルエンジンの歴史と仕組み、さらに脱炭素社会におけるアンモニア燃焼についての取組みについてご説明いただいた後、工場を見学させていただきました。広大な工場では、ディーゼルエンジンの部品の大きさ、フライホイールの迫力ある回転風景に圧倒され、3Sが行き届いた工場で作られる高品質のエンジンが、世界の海で活躍していることに感銘を受けました。

(5)意見交換会

“自社の問題点とその解決に向けた取組み”“工業会・行政に対するご意見、要望”をテーマに、活発な意見交換が行われました。

各テーブルとも、人材確保が現在の一番の問題点であり、少子化・理系離れ、理系人材の減少という逆風の中、そもそも採用できない、さらに採用したとしても、定着してくれないことに対する各社の取組みが共有されました。

(6)交流会

瀬戸内海の絶景を臨む(株)IHI相生事業所『臨海荘』にて、意見交換会につづき活発な交流がなされました。相生市名物のブランド生牡蠣3kgが提供され、完食しました。



(株)三井E&S DUでの集合写真



意見交換会の様子



臨海荘での懇親会

国内技術見学会

3月25日(火)～26日(水)にかけて、国内技術見学会（東北先端技術施設・企業見学会）を22名の参加者ととも
実施しました。

初日は仙台空港に集合し、東北大学青葉山キャンパス内にある3GeV
高輝度放射光施設「NanoTerasu（ナノテラス）」を訪問しました。佐
用町にある大型放射光施設「SPring-8」よりも一世代新しいコンパクト
な放射光施設であり、稼働中の立ち入り区域を広く取れることで作業
効率が向上し、稼働率も高まるとのことでした。ここで得た知見は、今
後のSPring-8のアップデートに活かされる予定とのことでした。

続いて、トヨタ自動車東日本(株)宮城大衡工場を訪問し、小型車の生産
ラインを見学しました。震災復興への貢献活動として、地元企業への
生産性向上支援について説明を受けた後、「一気通貫のものづくり」を
目指す溶接・組立ラインを視察しました。

夜には仙台市内で懇親会を開催し、参加者同士の交流を深めました。

二日目は福島県に足を延ばし、福島第一原子力発電所と福島水素エ
ネルギー研究フィールド（FH2R）を訪問しました。

福島第一原子力発電所では、廃炉資料館にて震災後の対応や今後の
ロードマップについて、東京電力(株)の担当者から説明を受けました。そ
の後、線量計の着用レクチャーを受け、バスで現地へ移動。1～4号機
の前で、進行中の廃炉作業について説明を受けました。

午後はFH2Rを訪問し、再生可能エネルギーを活用した水素製造施設
および輸送用機材・供給システムを見学しました。国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の担当者から、周辺地
域では一定の水素需要があり、それを満たすため輸送用機材の手配が
忙しいとの説明を受けました。

見学会参加者からは、「放射光や水素エネルギー、廃炉作業に関わる
先端技術や人材を見て、日本の未来に希望を持てた」「震災復興と地域
産業の関わりについて考えさせられた」といった声が寄せられました。

最後に、今回の見学会の企画・実施にご尽力いただいた、シン・ものづくり委員の関西電力(株)村澤部長をは
じめ、関係各位に紙面をお借りして御礼申し上げます。



ナノテラス見学



トヨタ自動車東日本での参加者集合写真



福島第一原子力発電所見学
写真出典：東京電力ホールディングス



FH2R見学

くすのき会

くすのき会（50歳未満の若手経営者グループ）では毎月1回の例会や分科会等、例会の懇親会も含め活発に活動をいたしております。各例会の活動をご報告していきます。

【1月例会“新年会”のご報告】

2025年のスタートを祝う1月例会は、神戸市内の会場で開催されました。新年の節目として、会員同士の親睦を深めることを目的に、カジュアルな雰囲気の中で実施されました。各メンバーが今年の抱負や経営にかける想いを語り合い、参加者一同が新たな一年に向けて意欲を高める機会となりました。おいしい料理とともに交わされる会話は尽きることなく、改めて「経営者同士のつながり」の重要性を実感できる時間となりました。

【2月例会“自社株対策に関する講演”のご報告】

2月例会におきましては、みそら税理士法人の廣岡氏、野村バブコックアンドブラウンの松木氏をお招きし「決算書の磨き方&自社株対策」をテーマに、中小企業が活用できる節税対策や、今後の税制改正のポイントについて詳しく解説いただきました。講演後の質疑応答では、参加者からの具体的な質問も相次ぎ、「税務の知識を深めることがいかに経営に直結するか」を改めて認識する機会となりました。実践的な内容が多く、すぐに活かせる情報を得られたことで、多くのメンバーから「大変有意義な学びだった」との声が寄せられました。



講演の様子（2月例会）

【第2回分科会“オークラ輸送機(株)視察”のご報告】

2月には分科会活動の一環として、オークラ輸送機(株)を視察しました。同社は、物流搬送システムのトップメーカーであり、最先端のピッキングシステムやAIを活用した搬送ロボットを導入するなど、常に革新的な技術開発に取り組んでいます。視察では、最新の自動仕分けシステムや無人搬送ロボットの実演を見学し、物流の未来について学びました。また、現場の責任者の方から、システム開発の背景や導入に至る経緯についてもご説明いただき、「自社の生産現場にどのように活かせるか」という視点で活発な意見交換が行われました。



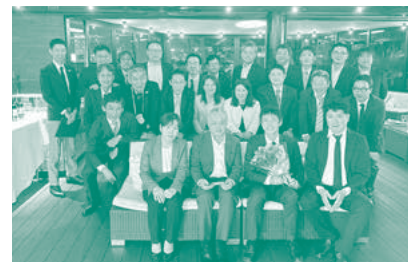
視察の様子（第2回分科会）

【3月例会“卒業例会”のご報告】

年度の締めくくりとなる3月例会は、北野クラブにて卒業例会として開催されました。今年度は、2名のメンバー（甲南設計工業(株) 山本社長、(株)辻一平商店 辻社長）が卒業されることとなり、くすのき会一同でその門出を祝いました。卒業生からは「くすのき会で得た学びと仲間とのつながりが、自身の成長に大きく寄与した」との感謝の言葉が述べられ、現役メンバーも改めて本会の意義を感じる瞬間となりました。卒業生からの最後のメッセージを受け、今後も若手経営者同士の絆を大切にしながら、それぞれの企業の発展、そして兵庫のものづくり産業の発展に貢献していく決意を新たにしました。



卒業生への記念品授与（3月例会）



記念写真（3月例会）

くすのき会に興味をお持ちの方がおられましたら、随時体験入会を受け付けております。お気軽にご連絡ください。また、御知己の方で入会対象者がおられましたら、ご紹介賜りたくよろしくお願い申し上げます。

第21回兵庫工業会 ゴルフ大会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会の第21回ゴルフ大会を下記の通り開催いたしますので、ご予約の程よろしくご願ひ申し上げます。

- ☆開催日時 2025年5月10日(土) (9:04スタート)
- ☆開催場所 小野東洋ゴルフ倶楽部 〒675-1315 小野市日吉町570-1 TEL: 0794-62-6881
- ☆参加費 5,500円
- ※その他 プレーフィー 28,500円は、各自でゴルフ場にお支払い下さい。
(ビジター料金税込、キャディ付き、食事・ドリンク代等個人的経費は別途必要となります。)



兵神機械工業株式会社

本社・工場 〒675-0146 兵庫県加古郡播磨町古田1-5-30
TEL：079-436-3001 / FAX：079-436-3015
URL：https://www.hsn-kikai.com/
代表取締役社長：友藤 昇平

当社は1929年に創業し、現在は船舶用機器の製造販売を中心に事業を展開しています。これまでの歩みは決して平坦ではなく、環境の変化に合わせるための挑戦や、自らの状況を変化させるための挑戦を行ってきました。本日はその歩みを紹介させていただきます。

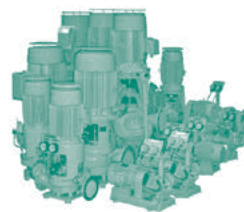
創業当初、当社は国内で盛んだった炭鉱の排水用として渦巻ポンプの製造・販売を行っていました。第二次世界大戦後、第一次輸出船ブームが始まると、衰退しつつあった炭鉱向けポンプ市場から船舶向けポンプ市場へと参入し、会社の方向性を大きくシフトしました。この過程で、海水や清水を移送する渦巻ポンプだけでなく、燃料や潤滑油を移送する歯車ポンプ、粘度のある流体を移送するピストン型ポンプなど、多様なポンプを取り扱うようになりました。

海洋環境に関する規制の変更も、当社にとって新たな製品開発の機会をもたらしました。1955年の「海水油濁防止国際条約の改正条約」の発効により、ビルジ水の処理に「油水分離器」の船舶搭載が義務化されました。当社はこれを好機と捉え、日本のメーカーとして初めて油水分離器を開発し、運輸省の型式承認試験に合格しました。その後も、IMO（国際海事機関）による規則の変更に合わせて油水分離器の性能を進化させて続けています。

長年にわたり携わってきた船舶製品は、多くのお客様から信頼を獲得し、現在の当社の基盤となっています。



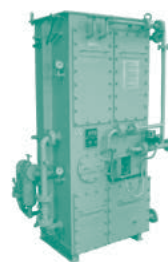
代表取締役社長
友藤昇平



船舶用ポンプ



油水分離器 HE-20 型（1968 年型式承認）



HFM-200 型
（2006 年型式承認）

近年、当社は「農工」と呼ばれる新規事業を立ち上げ、水耕栽培装置の開発、製造、販売を行っています。これは、食の安全性への懸念や地域の耕作放棄地増加という社会問題に対応するため、船用業界で培った流体技術や制御技術を農業に応用したものです。

さらに、船舶用機器の技術と農工事業の技術を組み合わせ、「船舶用水耕栽培装置」を開発しました。この装置は、船上での新鮮な野菜の供給という課題に応えるものであり、船舶の揺れや傾き、限られたスペースなど、多くの技術的課題を克服して実現されました。この成果により、当社は「令和2年度ひょうごオンリーワン企業」として県から認定を受けるに至りました。

当社の挑戦は国内市場にとどまらず、グローバル展開にも及んでいます。特に、中国市場への進出も重要な戦略の一つです。2010年には上海市に現地法人を設立し、2013年には広州市で合弁会社を設立しました。さらに2014年には徳州市でモーターメーカーとの合弁会社を設立し、日本の技術と品質を取り入れたモーターの製造・販売を開始しています。これらの取り組みは、技術力と製品の国際競争力を高めるとともに、成長著しい中国市場での営業力を強化することに貢献しています。

現在、船舶業界ではカーボンニュートラルに向けて、従来の重油燃料から新たな燃料へのシフトが進んでいます。ポンプや油水分離器、その他の製品においても、こうした新たな要求に適合することが求められます。

しかし、当社は変化を恐れず、むしろそれを機会として捉え、積極的に新しい技術や知識を取り入れる姿勢を持ち、社会に貢献できるような製品を世界に提供することで事業を継続していきたいと考えております。



船舶用水耕栽培装置

関西ものづくり新撰2025

近畿経済産業局が、関西の中小企業が新たに開発した独創性・市場性・信頼性を備えた製品・技術等を選定する「関西ものづくり新撰2025」の特別賞に下記の会員企業が選ばれ、2月26日(水)に大阪市中央公会堂において選定証交付式が行われました。心からお祝い申し上げます。

<特別賞「溶接作業もテレワークのできるで賞」>
遠隔で・誰でも・簡単に産業用ロボットを扱って溶接ができる
PC遠隔操作溶接ロボットシステム『WELDEMOTO』・・・高丸工業株式会社

第50回 発明大賞

日本発明振興協会と日刊工業新聞社共催の「第50回（2024年度）発明大賞」に下記の会員企業の発明が選ばれ、3月13日(木)に東京都港区の明治記念館において表彰式が行われました。心からお祝い申し上げます。

<発明功労賞>
物体検出装置・・・旭光電機株式会社
<考案功労賞>
通路形成装置・・・伊東電機株式会社
<発明奨励賞>
遠隔で誰でも簡単に扱える産業用ロボット操作の新方式・・・高丸工業株式会社
以上 3社

新メンバー紹介

1月より着任

- 氏名/佐野 淳
- 星座/乙女座
- 血液型/A型
- 趣味/読書(古本屋巡)

■抱負

工業会設立の目的を意識し、アカデミアとモノづくりの両面から、少しでも何かのお役に立てればと思っております。微力ではございますが、何卒、宜しくお願い致します。



会員動向

代表者役職変更

企業名	新役職名	旧役職名	変更月
(株)さくら工業所	代表取締役会長 小川 淳一	代表取締役社長	2025年3月
神港精機株	相談役 眞下 忠	取締役会長	2025年3月

住所変更

企業名	新住所	変更月
兵庫県中小企業団体中央会	神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階	2025年1月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
5月10日(土)	第21回ゴルフ大会	小野東洋ゴルフ倶楽部
5月30日(金)	第66回通常総会	神戸ポートピアホテル

公式SNSで情報発信中！
ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram →



兵庫工業会HP →



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231